

ああ…満州からの逃避行



「土饅頭にして埋められた人々」宮岸清衛：絵

事実を少しでも後世に残したいと思い、「北陸満友会」を発足

敗戦時、日本政府は満州などソ連軍占領地区に在住していた日本人を「棄民棄兵」しました。

満州の悲行な記録が残っているのは開拓団 27 万人のうち 7.8 万人、青少年義勇軍が 8 万人のうち 2 万人、捕虜となった関東軍 60 万人のうち 6 万人は知られていますが、その他の 85 万人のうち 16 万人ほどが死亡しているとの推測です。

その中の葬ってもらえなかった遺体は野ざらしのまま、朽ち果て満州の大地の土となったのは約 10 万人と推測されます。

満州に生まれ満州で死亡した子供たちは日本の戸籍にも入らず大陸に朽ち果てたのです。

せめて生きている私たち老満州子、朝鮮子はこの事実を後世に引き継ぐ努力をいたしましょう。

昭和 20 年 8 月の敗戦から満州などソ連軍占領地区から引き揚げて 70 年になりました。寒い冬がやってくると凍てつく寒さを敗戦で経験した私たちは忘れることができません。

この事実を少しでも後世に残したいと思い、北陸満友会を発足しました。

北陸満友会について

2013 年 12 月 19 日に設立

目的≫満豪開拓で大陸に夢を求めた一世の多くは鬼籍に、2 世も高齢になり満州の苛酷な思いを話す者も少なくなりました。

敗戦から 70 年。生き残った者の使命として今一度最後の語り部活動を行い、あの惨劇の記憶を記録として永久に残すために二つの施策を行う。

1. 引き揚げ者に「満州での逃亡生活状況」を書き k-アムールボーイに登録し、県立図書館の蔵書に。
2. 引き揚げ者が悲劇の体験を書いた著書の表紙と目次の写真を収集し、求める図書が検索できるシステムの充実を図る。
3. 古い著書を速やかにデジタル化し、パソコンやタブレットで閲覧できより多くの人の目に触れさせる。

K アムールボーイ

検索

平成 27 年 4 月～

石川県民大学校講座開講に
組み込まれました！

平成 27 年度日程表は裏面に掲載

お問い合わせはこちら

会長 宮岸 清衛

〒921-8815 石川県野々市市本町 1-2-38

TEL. 076-248-3533

Email: k-miyagisi19@cameo.plala.or.jp

URL: <http://k-amur.boy.jp>

事務局長：南 修

〒920-1302 石川県金沢市末町 5-88-3

TEL.090-7749-0702

Email: osaminami.mimami@aol.jp